平成24年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月9日

上場会社名　株式会社 インターアクション　　上場取引所　東
コード番号　7725　URL　http://www.inter-action.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 木地　英雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 中瀧　明男　TEL 045-788-8373

四半期報告書提出予定日　平成24年4月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第3四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第3四半期	1,078	146.6	301	―	305	―	301	―
23年5月期第3四半期	437	―	△85	―	△94	―	△73	―

(注)包括利益　24年5月期第3四半期　301百万円　(―%)　23年5月期第3四半期　△74百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第3四半期	4,137.94	4,039.00
23年5月期第3四半期	△1,217.16	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第3四半期	1,646	855	51.8
23年5月期	1,403	544	38.6

(参考) 自己資本　24年5月期第3四半期　853百万円　23年5月期　542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年5月期	―	0.00	―		
24年5月期(予想)				400.00	400.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400	123.3	330	―	340	―	337	―	4,616.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期3Q	76,761 株	23年5月期	76,361 株
② 期末自己株式数	24年5月期3Q	3,756 株	23年5月期	3,756 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期3Q	72,831 株	23年5月期3Q	60,755 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】2ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間は、当社グループの主要取引先である半導体メーカーにおいて、今後高い成長性が期待されるスマートフォン市場に向けた設備投資の動きが活発化いたしました。当社グループは、最小限の組織体制とコスト構造を維持しつつ、設備投資需要の取り込みを図る活動を継続いたしました。

当社グループの主力製品であるＣＣＤ及びＣ－ＭＯＳイメージャ向け検査用光源装置の実績につきましては、好調に推移いたしました。太陽光発電関連製品につきましては、ソーラーファーム事業の運営会社を設立し、実証実験を開始するとともに、遊休地等の活用のため商品化した「ＯＨＩＳＡＭＡ　ＳＹＳＴＥＭ」の拡販に注力いたしました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,078百万円（前年同四半期の売上高437百万円に比し、146.6%の増加）、販売費及び一般管理費は333百万円（前年同四半期の販売費及び一般管理費294百万円に対し、39百万円の費用増加）、営業利益は301百万円（前年同四半期の営業損失85百万円に対し、386百万円の利益増加）、貸与資産賃貸料及び支払利息等を加減した経常利益は305百万円（前年同四半期の経常損失94百万円に対し、399百万円の利益増加）、四半期純利益は301百万円（前年同四半期の四半期純損失73百万円に対し、375百万円の利益増加）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

（光源装置）

当社グループの主力製品であるＣＣＤ及びＣ－ＭＯＳイメージャ向け検査用光源装置につきましては、半導体メーカーの生産設備の増強に伴う光源装置本体への受注が好調に推移いたしました。

当第３四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は1,036百万円（前年同四半期の売上高364百万円に比し、184.1%の増加）、営業利益は576百万円（前年同四半期の営業利益150百万円に対し、426百万円の利益増加）となりました。

（太陽光発電関連製品）

太陽光発電関連製品につきましては、平成23年６月にソーラーファーム事業の運営会社としておひさま農場株式会社を設立し、平成23年７月より実証実験を開始いたしました。連結子会社である株式会社ＢＩＪにおいては、遊休地等の活用のための「ＯＨＩＳＡＭＡ　ＳＹＳＴＥＭ」を商品化し、平成23年９月より外販を開始いたしました。しかしながら、当第３四半期連結累計期間においては、取扱い製品の切り替えを進めたことから、売上高への貢献は少額に留まりました。

当第３四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は26百万円（前年同四半期の売上高68百万円に比し、60.6%の減少）、営業損失は32百万円（前年同四半期の営業損失26百万円に対し、５百万円の損失増加）となりました。

なお、大洋州諸島地域でのクリーンエネルギー事業に関しては、当社がソロモン諸島政府と共同で提案しておりました「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトのファイナンス契約を平成24年１月に締結し、これにより本格的にプロジェクトが開始されました。このプロジェクトの売上高については、来期以降の２年間で約３億円を見込んでおります。

（その他）

当第３四半期連結累計期間における画像検査装置の外部顧客に対する売上高は14百万円（前年同四半期の売上高４百万円）、営業利益は４百万円（前年同四半期の営業利益１百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ243百万円増加し、1,646百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ242百万円増加し、1,138百万円となりました。これは、現金及び預金が96百万円、受取手形及び売掛金が80百万円、仕掛品が95百万円それぞれ増加したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.4百万円増加し、508百万円となりました。

当第３四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ68百万円減少し、791百万円となりました。これは、買掛金が18百万円、未払金（流動負債その他）が23百万円それぞれ増加したものの、社債の償還80百万円と借入金の純減59百万円があったこと等によるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ311百万円増加し、855百万円となりました。これは、四半期純利益301百万円の計上等による利益剰余金の増加によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におきましては、連結経営成績については概ね計画通り推移していることから、現時点におきましては、平成24年３月26日に発表いたしました通期の連結業績予想について変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する重要事象等の解消について）

当社グループは、前々連結会計年度において営業損失362百万円、前連結会計年度において営業損失79百万円を計上しており、継続的な損失の発生により、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しておりました。

この状況に対して、当社グループは、最小限の組織体制とコスト構造を維持しつつ、設備投資需要の取り込みを図る活動を継続いたしました。

その結果、第２四半期連結会計期間及び当第３四半期連結会計期間において、売上高の増加及び経費削減等により、営業利益を計上することとなりました。また、今後につきましても、スマートフォン市場の急伸に伴う当社主力製品であるＣＣＤ及びC―MOＳイメージャ向け検査用光源装置の受注拡大、太陽光発電関連製品の販売チャネルの拡大、徹底したコスト削減等に注力し、ますますの業績の回復と収益構造の改善に取り組むこととしており、平成24年３月26日に発表しました当連結会計年度の業績予想は売上高1,400百万円、営業利益330百万円を見込んでおります。

従いまして、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況は解消されたと判断しております。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年５月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年２月29日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	615,203	711,345
受取手形及び売掛金	75,424	156,193
商品及び製品	60,887	25,100
仕掛品	74,135	170,109
原材料及び貯蔵品	66,241	68,680
その他	47,670	8,757
貸倒引当金	△44,158	△2,166
流動資産合計	895,404	1,138,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	241,189	217,002
土地	127,579	135,402
その他（純額）	16,239	32,746
有形固定資産合計	385,007	385,151
無形固定資産		
その他	3,994	2,942
無形固定資産合計	3,994	2,942
投資その他の資産		
投資有価証券	212,256	212,256
その他	139,352	184,577
貸倒引当金	△232,255	△276,163
投資その他の資産合計	119,352	120,669
固定資産合計	508,354	508,762
資産合計	1,403,759	1,646,783
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,237	46,533
短期借入金	40,000	114,000
1年内償還予定の社債	80,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	207,713	273,053
未払法人税等	4,254	4,863
賞与引当金	－	8,839
製品保証引当金	3,365	5,510
その他	67,284	111,195
流動負債合計	430,854	573,996
固定負債		
社債	10,000	－
長期借入金	390,133	190,818
退職給付引当金	7,145	6,766
その他	21,511	19,785
固定負債合計	428,789	217,370
負債合計	859,644	791,366

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年５月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年２月29日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	251,153	255,983
資本剰余金	1,818,304	1,823,133
利益剰余金	△1,073,552	△772,182
自己株式	△448,798	△448,798
株主資本合計	547,107	858,135
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,642	△4,368
その他の包括利益累計額合計	△4,642	△4,368
新株予約権	1,650	1,650
純資産合計	544,114	855,417
負債純資産合計	1,403,759	1,646,783

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年６月１日 至　平成23年２月28日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成24年２月29日）
売上高	437,278	1,078,528
売上原価	※1 228,497	※1 443,792
売上総利益	208,780	634,735
販売費及び一般管理費	294,434	333,453
営業利益又は営業損失（△）	△85,653	301,281
営業外収益		
受取利息	1,750	1,633
受取配当金	0	1
貸与資産賃貸料	11,787	31,152
為替差益	－	1,760
その他	5,395	4,414
営業外収益合計	18,934	38,961
営業外費用		
支払利息	11,874	9,777
為替差損	3,771	－
貸与資産諸費用	4,094	10,275
新株予約権発行諸費用	1,533	8,001
その他	6,009	6,349
営業外費用合計	27,283	34,403
経常利益又は経常損失（△）	△94,001	305,839
特別利益		
製品保証引当金戻入額	8,859	－
貸倒引当金戻入額	15,078	－
その他	18	－
特別利益合計	23,956	－
特別損失		
固定資産除却損	631	－
固定資産売却損	－	2,759
投資有価証券売却損	1,623	－
特別損失合計	2,255	2,759
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△72,300	303,079
法人税、住民税及び事業税	1,648	1,709
法人税等合計	1,648	1,709
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△73,948	301,370
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△73,948	301,370

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年６月１日 至　平成23年２月28日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成24年２月29日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△73,948	301,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,431	－
為替換算調整勘定	△2,172	273
その他の包括利益合計	△741	273
四半期包括利益	△74,689	301,644
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,689	301,644
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成22年６月１日　至　平成23年２月28日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	光源装置	太陽光発電関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	364,980	68,091	433,072	4,206	437,278
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	55,296	55,296	－	55,296
計	364,980	123,387	488,368	4,206	492,574
セグメント利益又は損失（△）	150,762	△26,445	124,316	1,488	125,805

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」及び「セキュリティ関連製品」であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	124,316
「その他」の区分の利益	1,488
セグメント間取引消去	964
全社費用（注）	△192,744
たな卸資産の調整額	△19,678
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△85,653

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成23年６月１日　至　平成24年２月29日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	光源装置	太陽光発電関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,036,795	26,843	1,063,638	14,889	1,078,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,036,795	26,843	1,063,638	14,889	1,078,528
セグメント利益又は損失（△）	576,789	△32,325	544,463	4,578	549,041

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	544,463
「その他」の区分の利益	4,578
全社費用（注）	△226,098
たな卸資産の調整額	△21,661
四半期連結損益計算書の営業利益	301,281

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成22年６月１日　至　平成23年２月28日）

当社は、平成22年７月29日付けの第５回新株予約権の一部行使（40個）により、第１四半期連結会計期間において資本金が9,658千円、資本準備金が9,658千円増加し、当第３四半期連結会計期間末において資本金が110,141千円、資本剰余金が1,677,292千円となっております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成23年６月１日　至　平成24年２月28日）

当社は、第２四半期連結会計期間における第５回新株予約権の一部行使（20個）により、資本金が4,829千円、資本準備金が4,829千円増加し、当第３四半期連結会計期間末において資本金が255,983千円、資本剰余金が1,823,133千円となっております。

（６）重要な後発事象

当第３四半期連結会計期間(自　平成23年12月１日　至　平成24年２月29日)

(子会社の設立)

当社が進めております「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトにおいて、現地における太陽光発電装置の組立、設置、販売及びアフターサービスを担当させることを目的として、平成24年２月24日及び３月26日開催の取締役会決議に基づき、平成24年４月３日に子会社を設立いたしました。会社の概要は以下のとおりであります。

（１）商号	Inter Action Solomon Islands Limited
（２）代表者	取締役会長　　木地英雄（当社代表取締役社長）
	取締役ＣＥＯ　アミテッシュ・クマール（当社従業員）
	取締役ＣＴＯ　杉森忠之（当社従業員）
（３）本店所在地	P.O.Box 1560, Honiara, Solomon Islands
（４）設立年月日	平成24年４月３日
（５）事業年度の末日	12月31日
（６）資本金	資本金100,000ソロモン諸島ドル(約120万円)
（７）出資構成	当社100％出資
（８）主な事業内容	太陽光発電装置の組立、設置、販売及びアフターサービス